

広報紙 150

2018年は、北海道命名150年
その先の、道へ。北海道

年5回発行
5・7・9・11・12月の下旬



当たる
道産品
裏表紙をチェック!

2018年
6月号
平成30年5月発行
通巻225号

【特集】平成30年度北海道予算

北海道命名150年。 地域創生の成果を確かなものにし、 未来への投資を進めていきます。

平成30年度北海道予算が決まりました。

道政の基本姿勢と重点的な取り組みを
紹介します。



北海道価値は未来の扉を開く鍵

この地が「北海道」と命名されて、ことしで150年目を迎える。私たちのふるさと北海道は、豊かな自然環境や四季折々の気候風土に恵まれ、アイヌや縄文といった独自の歴史や文化を持ち、地域ならではの価値を有しています。この北海道価値こそが、未来の扉を開く鍵といえます。

このため道では、暮らしと経済の両面から総合的な政策を展開しており、近年、来道観光客の増加や、道産食品をはじめとした北海道ブランドが高く評価されるなど、北海道は、国内外から注目される地域の一つになってきました。

現在、私たちは、これまで経験したことのない人口減少に直面しているが、地域の特色を生かした取り組みにより、人口減少の抑制に成果を上げる市町村も増えつつあります。

こうした地域創生の成果を確かなものにするため、これからも、子どもを生み育てやすい環境づくりや地域の将来を担う人材の育成、道民生活に欠かせない交通網の整備など、待ったなしの課題に正面から向き合い、心豊かに暮らせる北海道を目指して取り組みを進めていきます。

キーワードは「世界」「地域」「未来」「人」

50年、100年先も、誰もが安心して暮らし、夢を描いて輝ぎ続けることができ、国内外から多くの人々が訪れるような北海道を創るために、次の二つの基本姿勢で道政運営に取り組みます（具体的な内容は中面参照）。

●世界とともに歩む持続可能な地域づくり……………

北海道が誇る価値の源は、私たちが暮らす地域そのものです。地域の産業や医療福祉、交通ネットワークといった生活基盤を守り、地域の魅力を見つめ直し、磨き上げることで、次の世代へ引き継いでいきます。また、「世界の中の北海道」として存在感を高めていくためにも、地域の可能性をさらに引き出し、将来にわたって安心して暮らせる社会の確立を目指します。

●未来へつなぐ人づくり……………

私たちの暮らしが大きく変わっていく中、次の時代に向かって果敢にチャレンジする人たちの取り組みを全力で応援します。また、「人づくり」こそが、あらゆる政策の原点です。お互いの個性や価値観を尊重し、包容力を持ちながら、自立心にあふれ、新しい価値の創造に挑戦する人材を育んでいきます。

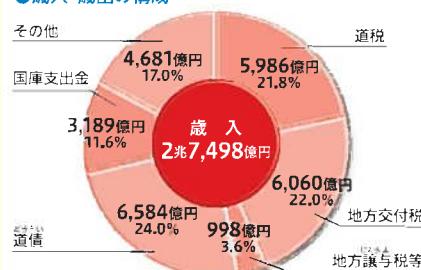
平成30年度予算の概要

平成30年度予算は、昨年度とほぼ同規模の2兆7,498億円となりました（一般会計）。

道財政は、これまで行財政改革に取り組んできた結果、収支不足額が縮小するなど、着実に改善が図られているものの、引き続き収支不足が見込まれるなど、依然として厳しい状況にあります。

今後も、予算の効率的な執行や歳入確保に取り組むなど収支不足の解消に努め、人口減少など道政が直面する課題への対応と財政の健全化との両立を目指します。

●歳入・歳出の構成

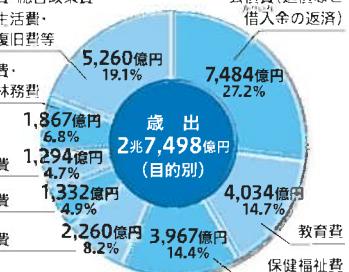


施設等維持管理費



※性質別：経費を技術的経費や人件費などの経済的性質で分類

総務費・総合政策費・ 環境生活費・災害復旧費等



※目的別：経費を震災復興費や教育費などの行政目的で分類

▶特集(平成30年度北海道予算)に関するお問い合わせ 道庁財政課 ☎(011)204-5030 [北海道予算] [検索]

発行／北海道総合政策部知事室広報広報課 ☎060-8588 札幌市中央区北2条西6丁目 ☎(011)204-5110 FAX(011)232-3796

地域創生の推進 (主な取り組み)

北海道150年事業の展開

- 北海道150年記念セレモニーを開催するほか、三重県・佐賀県との子ども交流を実施します。
- マサチューセッツ工科大学(MIT)の教授を招き、聴衆参加型の講演会を行います。
- 海外の姉妹友好提携地域の代表者が一堂に会し、今後の交流について語り合う会合を開きます。

アイヌ文化の発信などの強化

- 2020年の民族共生空間の開設に向けて、機運の醸成を図りながら、アイヌ文化の発信や地域連携体制の強化に取り組みます。

働き方改革の着実な推進

- 就業環境の改善などを働き方改革に取り組む企業を認定します。
- 学校における働き方改革として、教員に代わる部活動指導員やスクールサポートスタッフを公立学校に配置します。

暮らしと経済を支える交通・物流ネットワークの構築

- 貨物輸送の効率化に向けて、輸送業者と地域が連携し、ラストマイルへの共同輸送などを検討・実験します。『ラストマイル』では地域ごとに船便と陸路を組み合わせます。
- 道内航空ネットワークの維持・拡充を図るために、道内空港間の路線航路に向けた運航可能性調査を行います。
- 中都心と周辺地域をつなぐ広域的な交通ネットワークの実現に向けた取り組みを進めます。

本道の強みを活かした新しい成長産業の創出

- 新しい成長分野である宇宙産業の育成や人知能、IoTなど先端技術を利用した新たな取り組みを創出します。『AIアーティストプロジェクト』による「世界初」のAIによる「AIアーティスト」誕生。
- 脳科学分野における寒暖冷凍対応IoT製品などの開発支援拠点を整備します。
- 水素エネルギーの利活用や、自動走行車開発の拠点化に向けた取り組みを進めます。

持続可能な社会づくりに向か、三つの視点で取り組んでいきます。

経済と雇用を支える地域産業力の向上

- クラウドファンディング型ふるさと納税を活用して起業を支援します。『クラウドファンディング不登録の人が、インターネット経由での入力や提出書類の提出ができないことがあります。
- 中小企業の人材確保に向け、場所や時間にとらわれない働き方の導入を支援します。

暮らしを守る地域医療の確保と健康づくりの推進

- 修業資金の貸付や指導医の派遣により、地域での医師の確保やキャリア形成を支援します。
- がんの予防や早期発見など効果的ながん対策の取り組みを進めます。

誰もが心から暮らし共に発展できる社会の構築

- 誰がいの者も思慮疎かや手話に関する条例の制定に伴い、住民の理解を深めるフォーラムを開催します。
- 介護従事者の労働環境改善のため、介護ロボットの導入支援などの取り組みを進めます。

地域課題の解決に向けた取り組みの推進

- 課題解決などをテーマにクラウドファンディングを試行的に導入するほか、振興局と市町村が協働で取り組むプロジェクトを進めます。
- 北方四島共同経済活動の本格化を見据え、必要な事業を進めます。

「まさか」への備えと強靭でやさしい地域づくり

- 洪水対策などの防災・減災対策や、円滑で迅速な住民避難に必要な施設の整備を進めます。
- 飲酒運転の根絶に向けた取り組みを進めます。

次回の50年、100年先を見据え、未来を創る取り組みを進めます。

▶特集(主な重点政策)に関するお問い合わせ
道政政策局 (011)204-5132 北海道 点頭お問い合わせボタン

世界を見据えた果敢な挑戦 (主な取り組み)

海外との地域間交流などの拡大

- 日中の政府機関や経済団体などが東南アジアへ会合を誘致するほか、ベトナムとの人材交流に取り組みます。
- 日露の関係強化のため、欧露部(ヨーロッパ・ロシア)での経済フォーラムに参加するほか、サハリン州との青少年交流に取り組みます。

新たな国際環境などに対応した強い農林水産業の確立

- 國際情勢の変化に対応できる北海道の畜産農業を構築するため、牧草の生産性向上、工房チーズの品質向上などの総合的な取り組みを進めます。
- イワシやサバなど資源が増加している魚物の有効活用に向けた調査を行います。
- 道産木材の新たなブランド戦略を検討し、国内外でプロモーション活動を展開します。

インバウンドの加速化と「移く観光」の促進

- 自転車の活用と安全利用を推進するため、関係団体との連携体制を構築し、健康増進やサイクリングリズムによる観光振興を図るとともに、安全利用を広く周知するフォーマットを開催します。
- 地域の歴史的文化資源を生かしたまちづくりを進めため、北海道開拓の村に歓迎施設を整備します。
- 外国人観光客の多様な旅行スタイルに適応したツアーや宿泊組みを進めます。

食の输出拡大戦略の推进

- 北海道ブランドが浸透してきたアジア圏を中心、一層の販売促進等の取り組みを進めるとともに、EU諸国など新たな市場への输出拡大を図ります。

▶有吉謹さんによるイラスト

**こんなにちは、
宗れんが**

お問い合わせは
マークの窓口、またはホームページへ。

北海道自転車条例が施行されました

規制範囲の低速化や罰則等の交通事故の抑制、さらには道民の皆さんのがんばりの健康増進など、自転車の持つメリットを生かしながら、自転車利用者・歩行者の安全確保やサイクルツーリズムの振興を図ることを目的として、「北海道自転車条例」が6月1日から施行されました。

一方で、市町村、委託団体と連携しながら、自転車の活用や安全な利用の推進に取り組んでいます。

北海道自転車条例の概要

[自転車利用の方]

- 庫車運転ヘルメットを着用し、自転車側面に反射器材料を装着しましょう
- 自動車の側面通過時には安全な距離を保つか、徐行しましょう
- 道民の方々
- 道度・地域・学校などで交通安全教育を行いましょう
- [事業者の皆さん]
- 事業活動で自転車を使用する事業者などにルートの看板を推奨します

※規制の詳細は、道のホームページに掲載しています。

北海道自転車条例の概要

自転車規制、運転法、コンビニエンスストアなどで購入することができます。インターネットから、クレジットカードによる購入手続きも可能です。

[クレジットカード納税アクセス方法]

スマートフォンから、YAHOO! JAPANから、YAHOO! JAPANの決済機能で購入できます。

北海道戦没者追悼式を7月19日(木)に開催

先の大戦における北海道戦没の戦没者へ、追悼の意を表す、平和の誓いを新たにするため、毎年「北海道戦没者追悼式」を実施しています。

2018年度は以下の日程となります。

日時	7月19日(木)13:00~13:30
会場	北海道立公爵記念館

詳しくは追跡ホームページ、またはお近くの市町村の戦没者追悼セミナー「北海きたえーる」

**北海道・木育フェスタ2018
木育ひろばinチ・カ・ホ**

豊かな木育づくりを目指して「北海道・木育フェスタ2018」を開催します。木祭りや、道民さくらびの集いなどを行います。

6月19日㈯(土)・20日㈰(日)には、娘子で森を楽しむ木工体験や非海绵の木でつくられた遊具など木とふれあう「木育ひろばinチ・カ・ホ」を開催するほか、森林や林業、木育事業の歴史を紹介する「北海道の森づくり」パネル展も予定しています。

日時	6月19日(土)・20日(日) 11:00~17:00
会場	札幌駅前通地下歩行空間 札幌駅前イベントスペース

詳しくは追跡ホームページ、またはお近くの市町村の戦没者追悼セミナー「北海きたえーる」

北海道150年記念式典と北海道150年ウィーク開催

北海道150年事業のメインイベントを紹介します。

記念式典

- 日程：8月5日(日)
- 会場：北海道議会総合体育センター「北海道のステーク(札幌市)

メイン会場

- 第1部：式典 式典、青少年の会いなど
- 第2部：記念プログラム
- 歴史・文化・ダイナミックな記念式典の開催など
- 未来への橋渡し、若い世代のパフォーマンスなど
- 第3部：スペシャルライブ
- 子どもたちがアーティストのステージなど

サブ会場

- 「バルーン(虹色)・北海道産業など」 グループフェア
- 「北海道の歌つきトキセキ(音楽)など」

参加者募集、チケット販売等

▶北海道150年事業実行委員会事務局 (011)204-5595

道議会

定例会の概要などをお伝えします。

第42回北海道議会議場コント

平成30年第1回定例会(2/21~3/20)

■定例会の概要

道政執行方針説明と平成30年度当初予算案の審査11件が提出され議決されました。また、議員から各委員会等6件が記念投票が記念投票が実施されました。

本会議では、各会派の議員が代表質問や一般質問を行い、議決実行、JR北海道路線開通・新幹線トータル、後期高齢者医療保険制度、健康的ケアの実現、JR北海道の運営の在り方の検証、産業振興、税制改定、新しい教育計画、北方領土対話など改訂が直面する法律について議論を行いました。

予算特別委員会からは、改訂改善指折り、人口減少や少子高齢化などを背景とする人手不足、移住促進策の実現の中で行われた不就学手当、学校における働き方改革について意見が付されました。

■主な議決の状況

◎事実提出案件

- 予算案 33件
- 平成30年度北海道一般会計予算など
- 条例案 41件 / その他 6件
- 「北海道がいる自信と安心のための支援策に関する条例案」など

◎議員・委員会提出案件

- 条例案 11件
- 「北海道自転車条例案」
- 決議案 1件

▶2025年度预算監査会の諮詢に際する決議

モール温泉水を使って
十勝オリジナルのチーズを生産

十勝品質事業協同組合／音更町

十勝ならではのチーズをつくろうと、昨年、十勝品質事業協同組合は、十勝管内の6つのチーズ工房が、共通の基準でチーズの品質管理ができる国内初の共同熟成庫を十勝川温泉に開設しました。

十勝産の生乳を原料に共通のレシピでつくり、地元のモール温泉水を使って3ヶ月以上熟成させた、まろやかでコクのあるチーズ「十勝ラクリット モールウォッシュ」を完成。国内では数少ないチーズ熟成士が、その日の気候や湿度、チーズの状態を見ながら、何度も表面を温泉水で磨いて熟成させ、価値ある十勝ブランドになるように仕上げています。

一般的なラクリットチーズは塩水で表面を磨きますが、モール温泉水に含まれる有機物の影響で、より豊かな風味を引き出しができました。その土地に棲む微生物や水、牛を育てる環境など、ヨーロッパ各地域にそれぞれの風土があるように、十勝にも固有の風土があります。

地元の給食や家庭でも食べてもらって、このチーズが十勝の人たちにとって「私たちのチーズ」として根付いていくことを願っています。

▶お問い合わせ 十勝品質事業協同組合 ☎(0155)67-6080

ほっかいどう 未来への元気遺産!

北海道を元気にする、
人の・もの・アイデアを紹介します。

チーズづくり編

伊勢ファーム／旭川市

地元酒造の酒粕を使って
ブルーチーズを熟成



伊勢ファームでは、夏と冬の温度差が激しい江丹別地区の気候風土を生かし、ブルーチーズを生産。濃厚で芳醇なコクと甘みが食通の間で評判となり、国際線ファーストクラスの機内食にも採用されました。

さらにチーズの品質を高めようと、再度フランスへ。そのときの経験をもとに、帰国後、地元の高砂酒造とコラボして道産酒造「彗星」の酒粕で熟成させたブルーチーズの生産に成功。道の「北のハイグレード食品S 2018」に選定されました。

道北海道「食のパワーアップはじめ、道内外の食の専門家に選ばれた食品」



十勝産チーズといえば、
モールウォッシュに。



十勝品質事業協同組合
チーズ熟成士

柳平 孝二さん

地元旭川でしかつくれない
ブルーチーズです。



伊勢ファーム
伊勢 寛平さん

現地を訪ねると、ヨーロッパではチーズづくりのアレンジが流行っていて、特にワインの搾りかすで熟成したものが人気でした。それをヒントに、高砂酒造の酒粕で試してみると、酒粕のフルーティーな香りによって、チーズの風味が驚くほど変わりました。フランスのワイン祭りで試食してもらうと、現地の人も大絶賛。世界に通用する、旭川でしかつくれない日本酒に合うブルーチーズです。

ヨーロッパではチーズやワインに地名がついているように、このブルーチーズの名前は「旭川」に決めました。

▶お問い合わせ 伊勢ファーム ☎(0166)73-2148

北海道
150年

なるほど! 知るほど! 物語

北海道ならではの食の由来や知られざる歴史を紹介します。

道南の瀬棚で開業した日本人初の女医、荻野吟子

1885(明治18)年、国家資格を持つ日本人初の女医となった荻野吟子。自分の病気治療の体験から女医の必要性を痛感し、女人禁制だった医学校への入学を諦めず、断髪して袴や高下駄の男装で通ったといいます。

東京に産婦人科医院を開業し、男尊女卑と闘いながら女性の地位向上のため活動していましたが、北海道で理想郷の開拓を志していた夫を支えるため、1894(明治27)年、インマヌエル(現・今金町神社)への入植を決意。しかし、想像以上の過酷な環境と飢えに苦しみ、開拓を断念せざるを得ませんでした。3年後、海岸沿いの漁村である瀬棚(現・せたな町)に移り住み、産婦人科・小児科医院を開業。女性たちに包帯の巻き方を教えるなど家庭医療を普及し、慈愛に満ちた献身的な治療や往診に努めました。瀬棚郷土館には、吟子が日常生活に使用した道具や写真など貴重な資料が展示保存されています。

▶お問い合わせ 瀬棚郷土館 ☎(0137)87-3205



せたな町の荻野吟子 駅伝記念館

当たる! おいしい北海道

抽選で
30名様

「北のハイグレード食品S 2018」に選定された
(株)万両屋「チーズブルトンヌ」(5個入り)をプレゼント!

次のアンケートに答えて道産品を当てよう!

6月号の中で興味を持ったのは、どの記事ですか。

- ①特集(平成30年度北海道予算)
- ②こんにちは! 赤れんが
- ③おすすめ! 地域から
- ④こちら! 道議会
- ⑤未来への元気遺産!
- ⑥なるほど! 知るほど! 物語

●当選の発表は発送をもってかえさせていただきます。

●応募方法: アンケートの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本紙への意見・感想を記入の上、ハガキ、パソコンまたは携帯サイトでご応募ください。

●応募期限: 6月29日(金)必着 応募いただいた方が購入情報は、当プレゼントの発送以外には使用いたしません。

●応募先: ハガキ 〒060-8588(住所不要)



北海道広報広聴課「当たる! おいしい北海道」係

ハガキ パソコン 広報紙ほっかいどう 携帯

●購読記事の内掲ページ、広報紙アンケート結果、広報誌のバックナンバーなどの閲覧も上記からアクセスできます。※3月号のプレゼントには、4,172件の応募をいただきました。



北海道の入口	総人口	男	女
平成30年3月末	5,316,576人	2,509,946人	2,806,630人
前年同月比	31,526減	14,864減	16,662減

総人口は毎月公表される
統計資料に基づきが注の
データを掲載しています。

次号のお知らせ
8月号は7月25日(水)に
配布開始の予定です。



みんなの文字

この広報紙は地域に新しい技術を
インキを使用しています。本文には
見やすいゴシックフォントで
フォントを採用しています。

広告

*この広報紙は地域において北海道が発行しているものです。